

茉莉花

「真宗コア」ホームページアドレス <http://shinshucore.net/>

VOL. 131
maturika
2023 春号





©臂 美恵

絵(え)と(と)臂(うで) 美恵(みえ)ひじ(ひじ) みえ

のはらの春

ぼかぼか ぼかぼか 春のお日さまが
おはよう 春だよ 起きておいでよ
地中の蛙に 呼びかけた
大地が ぐんぐん ぐんぐん 暖まる
あーいい気持ち うーん元気がでる
草も 萌え出た 春だねえ



おしゃかさまのおはなし

ジャータカ ものがたり

三つの寝台

コーサラ國のベナーガプラ村に、釈尊が遊行の途中で立ち寄った時のことです。村人は釈尊のうわさをし「なにしろ、悟りを開いて仏になられたという方だ。早くお目にかかりたい」とにかく、村外れまでみんなで行ってみよう」と大勢で出発しました。

釈尊の一行が大樹の下で静かに休んでいると、村人たちがやってきました。ある者は合掌し、ある者は頭を下げ、釈尊を取り囲みました。一人のバラモン(インドの身分制度の階層。僧侶)は、釈尊に話しかけました。

「お目にかかれて光栄です。ぜひ私たちにも法を説いてください。お釈迦さまほどの方なら、奇進の品々が絶えないことでしょう。きっと王様のようなぜいたくな寝台で、お休みになるでしょうね」

「バラモンよ、あなたの言うような寝台は、私は持っていない。しかし、私はいつでも、もっと素晴らしい三つの寝台を得ることができるのだ」

「えっ、どんな寝台ですか。毛織りの布でできた温かい寝台ですか。宝石を散りばめた絹の布に包まれた美しい寝台ですか。それとも、毛皮でできたぜいたくな寝台ですか」

「いやバラモンよ、私の言う寝台とは、天の寝台と梵(ぼん)の寝台と聖の寝台だ。この三つは、得ようと思えばいつでもどこでも得られるのだ」

「お釈迦さま、それはどういうものですか」

「私は朝早く起きて托鉢(たくはつ)をし、昼過ぎれば草や葉を敷いて座る。そして静かに思いを凝らすと次第に欲望を捨て去り、物事を正しく見られるようになる。やがて瞑想(めいそう)に入ると、心が落ち着いて執着がなくなる」

釈尊は熱心に聞き入る村人たちを見渡し、それから再びバラモンに視線を戻して話を続けました。

「この清浄な天界に遊ぶような心境を、私は天の寝台と呼んでいる」
「そのような教えは初めて聞きました。それでは、梵の寝台とはどんなものですか」

「静かな心になると、あらゆるものを慈しむ心が起き、どんな相手にも思いやりの心が生まれてくる。どんなことにも喜びを感じるようになる。それこそが、梵の寝台だ」

釈尊の言葉に、バラモンは驚嘆の声を発しました。

「なんと素晴らしい教えでしょう。では聖の寝台はどういうものですか」

「この境地をさらに深めると、むさぼりや怒りや迷いが断たれ、あらゆる惑いがなくなつて静かな安らぎの境地に浸れる。この心境こそ、聖なる寝台に横たわると同じ。このような聖なる寝台を、私は望むままに手に入れられる」

村人たちは釈尊の話に感動し、終生釈尊に帰依することを誓ったのでした。

茉莉花の部屋

まつりか



大河ドラマで描かれた 浄土真宗と家康の戦い



「三河後風土記之内大樹寺御難戦之図(錦絵)」月岡芳年/画(1873年)
三河一向一揆が起こる前、三河へ侵攻した織田信長軍に対して、家康が大樹寺の僧侶と共に反撃する様子を描いているといわれる作品。

三河一向一揆

1563(永禄6)年、西三河の浄土真宗(一向宗)門徒が徳川家康に蜂起した歴史的争乱。本多正信ら家康家臣が一揆勢力に加わり、家臣団を分裂する戦いとなった。「三方ヶ原の戦い」や「伊賀越え」と並び、家康の三大危機の一つに数えられる。

兵糧米の徴収に猛反発

1560(永禄3)年、桶狭間の戦いで織田信長が今川義元を討ち取ります。これを機に、家康は従属していた今川氏から離反。信長と同盟を結び、三河統一に乗り出しました。

今川氏との戦いが進むにつれ、悩まされたのが戦費不足です。そこで目をつけたのが西三河の寺内町。浄土真宗の寺院を中心に形成された自治エリアで、税の取り立てが免除され、膨大な富が蓄えられていました。家康はそこから兵糧米を徴収しようしますが、寺院や門徒が猛反発。これが三河一向一揆の発端といわれています。

阿弥陀如来に救い求める

一揆の拠点となったのが、三河三ヶ寺といわれた上宮寺、勝鬘寺、そして本證寺です。本證寺は周囲に堀や土塁を配した城郭寺院で、住職の空誓は顕如上人と血縁が近く、一揆側の精神的支柱でもありました。「どうする家康」では、市川右團次が好演しています。

一向宗は浄土真宗の異名

NHK大河ドラマ「どうする家康」の第7回から、徳川家康の三大危機の一つ「三河一向一揆」が描かれました。

一向一揆とは、世間から一向宗と呼ばれていた浄土真宗の門徒が、全国各地で起こした抵抗運動です。本願寺中興の祖とも呼ばれる

蓮如上人の時代に始まり、戦国末期に石山合戦で織田信長と死闘を繰り広げた顕如上人の時代に終結しました。

しかし、ひと口に一向一揆と言っても、時代と地域によって性質は異なるようです。今回は、家康が22歳の時に西三河地方で起きた三河一向一揆にスポットを当てます。

そして、家康にとって誤算だった

のが、有力家臣たちが一揆側に加担するといふ裏切りです。家伝集「藩翰譜」には、戦での殺生に苦しむ武士たちの思いとして「主君の恩は現世のみ。しかし、阿弥陀如来への大恩は未来永劫(みらいえいこく)尽きることはない」と記されています。

造反家臣の中には、家康の幼なじみであり、参謀として知られる本多正信もいました。本證寺には、彼のものと伝わる供養塔が残っています。

既得権益を守る戦い

1563(永禄6)年の秋に始まった一揆は、翌年2月まで断続的

に続き、3月に和議が成立。家康は西三河の覇権を握り、東三河への侵攻を再開して三河統一を目指しました。

約半年に渡った三河一向一揆は、加賀一向一揆のような信仰禁止に反対する戦いではなく、既得権益を守るうとする浄土真宗と家康との政治闘争の色合いが強いものだったのです。

全国各地で起こった一向一揆については、本誌P.12で紹介の書籍「戦国時代と一向一揆」で詳しく知ることができます。さらにP.9のリレー問法では、本證寺の住職・小山興圓さんに登場いただきました。ぜひお読みください。

本證寺

真宗大谷派寺院。三河一向一揆で徳川家康との戦いで敗れて寺院は破却されましたが、20年後に許されて再建。現在でも鼓楼や一部の水濠が残り、城郭伽藍としての面影を見ることができます。



詳しくはこちら



精進料理



仏教とともに発展してきた精進料理は、美食や肉食を避け、野菜や海草を用いて作られるもの。家庭にも取り入れやすい材料でできる味わい深い一品を、このコーナーではご紹介します。

そら豆の 梅ヨーグルトあえ



- 1 そら豆の豆をさやから取り出し、塩ゆでにして皮をむきます。
- 2 梅干しの種を除いて、果肉を包丁でたたいて細かくします。
- 3 ボウルにヨーグルトと砂糖(少々)を入れて2を加え、しっかり混ぜ合わせます。
- 4 3に1を加えてよくあえ、お皿に盛り付けます。

ひとくちメモ

そら豆はゆで過ぎないように注意。梅干しは赤く、色が良いものを選んでください。

指導：岡山県成羽町・浄福寺坊主・山下里絵さん。
「浄福寺精進料理」の予約はTEL0866-45-3028へ



門前の気になる言葉

お寺の掲示板

お寺の門前に設置されている掲示板。そこには、インパクトのある言葉や時事的な話題など、気になる言葉が掲げられています。ちょっと足を止めて味わってみませんか。

西向寺(広島市)



原爆ドームのすぐそばにあるお寺。外国人観光客が多く来られるので、以前に掲示していた法語ポスターがアメリカの大学のサイトで紹介されて話題になりました。



いつでもどこでもお聴聞

ご院さん オンライン

パソコンやタブレット、スマートフォンを使って、いつでもどこからでも視聴できる法話や仏教番組を紹介します。



朝日新聞ポッドキャスト「お坊さんに聞け」

不安を抱えて生きる人々が大勢いる現代。日々の気になるあれこれを、お坊さんをはじめ宗教者に聞いてみようという企画。いつもとちょっと視点を変えることで、普段の生活では得られない気づきがあるはずです。

※ポッドキャストとは…スマートフォンやパソコンで視聴できる音声・動画番組。保存型なので、過去の放送をさかのぼって視聴できます。

お坊さんに聞け



仏

教

語

へ 本願

くらしの中に生きている

本当の幸せとは何でしょうか。

なんのために生まれて、なんのために生きているのでしょうか。本当の幸せは「生死出(い)づ(へ)き道」が解決したことでしょうか。仏さまに成るために生まれて、仏さまに成るために生きているということでしょうか。仏さまとは、智慧と慈悲が完全に備わってはたらいっている方です。

私の願いとは何でしょうか。私の場合、毎日が楽しく笑顔があふれ充実して、家族が幸せであり、私の周りの人びとが幸せであってほしいと願ったりします。ですが、その願いはかなわず、虚しくなったり、うらやんだり、腹を立てたり、憎んだり、妬んだり、思い通りにならなくてイライラしたりしています。そんな私だから、このままではいけないのだ。では、よりよく生きよう。自分が良くなるために、他人様にもよくなっていくことを見返りを



求めています。真面目に努力して、がんばろうと思っただけのことでもありますが、一時のことです。なんのために努力しているのだろうか。なんのためにがんばっているのだろうか。とぐるぐる悩んで同じところを回っている私です。

とこのつまり、私の願いは、いまこの私にとって都合が良いか、都合が悪いかを求めているだけで得られることなく迷いつづけて、人生が終わっていくのです。そのように、いまこの私が虚しく人生が終わってしまうままにしておけないと、『仏説無量寿経』に、「南無阿弥陀仏」とお念仏させて誰一人もらすことなく仏と成る阿弥陀如来の願いがあらわされ、

その願いが成就し、すくうはたらしきになっていることがあらわされています。

いつ死んでもおかしくなく、どこで死んでもおかしくなく、言ったこともやったことも何の責任も取れないままに死んでいく私です。今しか生きられない、ここでしか生きられないさまよい続ける私を、阿弥陀如来は「いまここでどんな私であってもすくう」と誓われた願いなのです。これが阿弥陀如来の本願なのです。『仏説無量寿経』には第十八番目の願としてあらわされています。「ご本願」と言いあらわされています。

お念仏を申しつつ、お念仏のおすくいをたずねてまいりますように。

ねえねえ、あれ、知ってるでしょ？
ちっちゃい子がさ、お母さんに頼まれて
初めてお買い物に一人で行くやつ。
そうそう、それ。
あれねえ、実はオレ、子どものとき出たんだ。
そう、出演した。
おつかいしたの。
いや、冗談じゃないよ、ホントだよー。
うん、マジ。
厳密には一人じゃなくて、妹を連れてたんだけどね。

そんでね、知っての通り、今度オレ、結婚するじゃん。
披露宴で流すビデオに使えるかなって思って、
20何年ぶりかに録画を観てみたんだよ、家族で。
色々びっくりしたなあ。
いやね、子どもの頃、何度も観たはずなのに、自分の記憶と随分違ってた。
自分ではちゃんと「任務遂行」できてたつもりだったのにな。
トラブルと失敗ばかり。まあ、そうじゃないと番組にならないか。

おふくろが急に用事ができて、代わりに買い物に行く設定。
意気揚々、自信满满で出かけたはずなのに、隠しマイクには
「だいじょぶかな？ できるかな？」ってちっちゃな声が何度も拾われてる。
緊張してたんだなあ。

家を出てしばらく真っ直ぐ歩いて、曲がらなくちゃいけない角も折れずに行く。
するとサラリーマンのおじさんが、「この先は道路工事してて
進めないから、さっきの角を曲がった方がいいよ」と言ってくれる。
押しボタン式信号の横断歩道でボタンを押さずにじっと待っていると、
通りがかりのおばあちゃんがさりげなくボタンを押してくれる。
教えてもらった目標のビルが見つからなくて途方に暮れてると、
学生風のお兄さんがわざとらしく
「ああ、あんなところに黄色い大きな建物がある」とつぶやく。
スーパーで目当ての商品が見つからないと、
押しボタンのおばあちゃんがまた出てきて、
「あら、もやしはこっちにあるのね」と歩いてく。
探し物に夢中で妹の手を離して迷子にさせてしまったら、
店員さんが連れてきてくれる。
なぜか「レンコン」と「コンニャク」を間違えてレジに持ってくと、
係のおばさんが「あら、このレンコン傷んでるわね。ごめんなさいね、

はじめての おつかい



このコンニャクと替えてくれるかしら？」と。
そこで初めて間違いに気づくオレ、ははは。

今のオレは、困ったことがあると左の人差し指でおでこを
カリカリ掻くクセがあるんだけど、5歳のオレもそれやって驚いたよ。

どうにかこうにか、買い物を済ませて家路を急ぐ。
玄関先におふくろが立ってて、それ見つけたら、
妹とダッシュでおふくろの胸に飛び込んでく。
「あなたにもこんな可愛い頃があったのに」とおふくろがそれ観て涙ぐむ。

自分では言われた通りきちんとおつかいできたと思ってたのに、全然ダメだ。
あっちこっちで助けてくれた大人は、
実は番組制作のスタッフさんたちだったんだ。
何度か登場するおばあちゃんにいたっては、変装したおふくろだ。
もちろん、全然気づかなかった。今回初めてわかったよ。

「この時はちゃんとできたと思ってたのに、みんなに見守られてたんだねえ」
とつぶやくと、一緒に観ていたおばあちゃんが
「今も見守ってもらってるのよ」と言う。

え？ 誰に？
「アミダ様よ。ショウちゃんが迷った時、
辛い時、しんどい時、いつも一緒にいてくださるの」
でも、オレが受験失敗した時や失恋した時に助けてくれなかったよ。
「アミダ様は、自分勝手な願いを叶えるんじゃないの、
本当の幸せを願ってくれてるの」
本当の幸せねえ。。

オレは結婚も決まったし幸せだよ。
「自分ではちゃんとしてるつもりでも、アミダ様からみたら
迷ってるんじゃないの？ おつかいの時のショウちゃんみたいに」

いつの間にかおでこを掻いてた。
カリカリするたび、アミダ様が心配して
見ていてくださると思ひ出してみようかな。

自分ではちゃんとしてるつもりでも、
知らないうちに迷っている
気づいてないけど、
アミダ様はいつも心配して見守ってくださる

お浄土はhome



真宗大谷派 本證寺(愛知県安城市)

住職 小山 興圓

私は学生時代、英語を専門に勉強していました。ある講義で、教授の先生が「皆さん、英語で『家』という単語を教えてください」と尋ねられました。

「house」「home」
英語を専攻している私たちにとっては、あまりにも簡単すぎて、逆に引っかけ問題かと戸惑うような質問でした。すると先生がさかささ「ではこの二つの単語の違いが分かりますか?」と尋ねられたのです。

どちらも日常でよく使う言葉ですが、いざその違いを聞かれると、明確に答えられる人は一人もいませんでした。

まごまごしている先生が「では文を作ってみたらどうでしょう」と仰いました。

例えば、「家に帰る」という表現は英語で「go home」あるいは

「gotomyhouse」といいます。「house」には絶対に必要な「to(s)」という前置詞が、「home」には要りません。これは「home」という単語が、そこへ帰ることを前提として、すでに内に「to」を含んだ「副詞」として使われるからなのです。

辞書を引くと「house」は、「建物自体」を指し、「家を建てる」「家を買う」など、会話の中で特に「建物」に焦点が置かれる場合に用いられる表現です。対して「home」は、「家に帰る」や「家で仕事をする」など、「自分や誰かが住んでいる場所」や「安らぎのある場所」を指します。そこがどんな場所であろうと、自分が帰る場所であればそこが「home」になります。

「ただいま」と言えば「お帰り」と迎えてくれる家族、夕げの香

り、ネコの鳴き声、柱の傷:「家」といって思い浮ぶ全ての事柄が「home」なのです。だから極端なことを言えば、私を受け入れてくれるのなら、たとえ建物がなくても「home」になるのです。

「house」は「場所」を指す言葉ですが、「home」は場というよりもむしろ、無条件に受け入れてくれる「はたらき」に付けられた言葉といってもよいと思います。

「設我得仏 十方衆生 至心信樂 欲生我國 乃至十念 若不生者 不取正覺 唯除五逆誹謗正法(たとひわれ仏を得たらんに、十方の衆生、至心信樂して、わが国に生ぜんと欲ひて、乃至十念せん。もし生ぜずは、正覺を取らじ。ただ五逆と誹謗正法とをば除く) (第十八願)

「我が名(南無阿弥陀仏)を称える者は、無条件に我がhome(浄土)に迎えとて仏とする」と誓われた阿弥陀仏のご本願です。少しでも条件をつけられたら真つ先に漏れてしまう煩惱成就の凡夫(私)です。この私が決して漏れない、必ず受け入れられるというはたらきにこそ救いがあります。その南無阿弥陀仏を今称えさせていただきます。

仏教なんでも

Q & A

Q 故郷の墓参りにも頻繁には行けない昨今です。墓参りの間隔が開いてしまうと、花が枯れることを心配していたら、知り合いから造花を薦められました。問題ないでしょうか?

(広島県 女性 55歳)

A 「コロナ禍も3年になりました。行動制限もあり、墓参りの間隔が開いてしまった方々もいらっしゃるでしょう。そのためなのか、墓前の供花に造花が増えた気がしますが、次回までに枯れてしまつては、ご先祖さまに申し訳ない」との考えの方もいらっしゃるでしょう。人類の歴史上では、約5万年前頃には死者に花が手向けられていたという説もありますから、大切な死者儀礼とも言えるかもしれません。造花は見栄えする姿が長持ちしますので、墓参りの間隔が開いてもしばらくは墓前の景観が保たれます。それを選択する方々が増えるのも無理からぬところです。

しかし、仏教におけるお供え物は、自分にとって大切な物を仏前に捧げて、仏さまに対する敬いの心を表すものです。お花やお仏飯果物、お香などもこの考え方に基づいて仏前に供します。その意味では、景観重視で造花をお供えるより、生花(花のいのちにつながる)を生きたいというのです。

墓前だけでなく、お仏壇の供花も造花が増えてきたように思います。生花だと手間もお金もかかり、たびたび交換するのも大変です。しかし、華美にする必要はありません。

ぜひお供え物の意味を「理解していただきたい」と思います。

仏教について、皆様が日頃からお持ちの疑問にお答えします。マツリカ編集部「おしえて」院さん」係まで、お気軽にお便りをお寄せください。



万華鏡

仏旗を立ててみませんか

お寺に色鮮やかな旗が掲げられているのをご覧になったことはありませんか。その旗は仏旗(六金色旗)といい、仏教徒である事を明示するとともに、仏教を象徴する旗です。青・黄・赤・白・淡紅(橙)と、その混合色を示す縞模様で構成されています。その歴史は仏教の歴史から比べると短く、比較的最近できたもののようです。

アメリカの陸軍大佐ヘンリー・ステイル・オルコット氏は、仏教に興味を持ち1880年(明治13年)スリランカに渡航し正式に仏教徒となり、のちに仏教の興隆に尽力しました。彼が世界に仏教を広めるべく新しく考案したものが、現在の仏旗です。1887年(明治20年)に日本にもこの旗が紹介され、それより仏教各宗派が用いるようになりました。その六色はそれぞれ仏さまのすぐれた力が示されています。

親鸞聖人は、阿弥陀如来の私たちに向けられた救いのはたらきを、色とりどりに輝く「光」にたとえていかれました。

春には、お彼岸をはじめ、お釈迦さまのお誕生を祝う花まつり(4月8日)や親鸞聖人の降誕会(5月21日)があります。そんな特別な日には、家に仏旗を立ててみませんか。春風にキラキラとはためく姿に、きつと仏さまのあたたかいお心を味わえると思います。



■1,760円(税込)
発行/文学通信

戦国時代と一向一揆
竹間芳明/著
日本史料研究会/監修

一向一揆は地域と時代により、闘争形式が異なりました。それぞれの時代の一向一揆について、政治状況を中心に地域性を考慮しながら紹介します。



■1,320円(税込)
発行/KADOKAWA

ヤンキーと任職
近藤丸/著

本誌125号の「茉莉花の部屋」で紹介した近藤丸さんの漫画が、ついに紙の書籍で登場！ヤンキーと任職のその後を描いた52ページの新作も掲載しています。



■1,100円(税込)
発行/自励社

自己を知り、大悲を知る
海谷則之/著

折々の出来事を通して、いのちのありようを考える寺報法話を30篇掲載。親鸞聖人のみ跡を慕う著者70歳代の学びと思索の記録です。

戦国時代と一向一揆

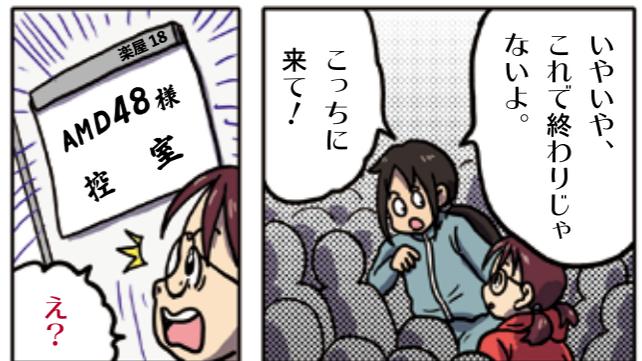
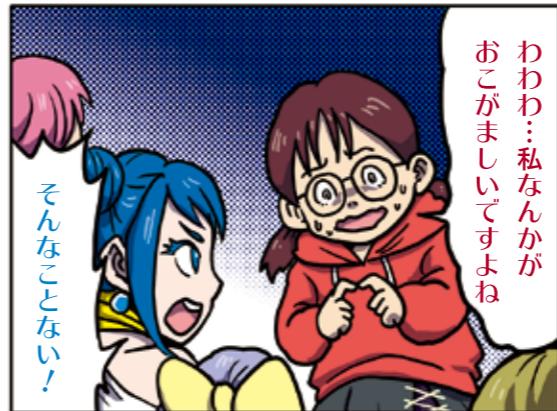
竹間芳明/著
日本史料研究会/監修

ヤンキーと任職

近藤丸/著

自己を知り、大悲を知る

海谷則之/著



選んできた
アミターマン



第45願
聞名見仏

会えたからこそ目指す世界
企画・原案 アミターマン制作委員会
漫画 ありたにけんゆう

中国編 インドから中国へ。伝承を振り返る

2016年に始まったこの連載企画も6年と28回を重ね、第五祖・善導大師の項を終わろうと思えます。次回から「二国伝来」と言われる中で、日本へと入ります。そこで、今回はインドから中国へとつながった本願のポイントを今一度、振り返ってみたいと思います。

時代や地域に相応しい方法で

まず、釈尊はインドに生まれて、「弥陀の本願」を説かれます。この釈尊が説かれた弥陀の本願が、七高僧によってそれぞれの時代や地域(国)で解説されます。時や場所が違えば、当然、説き方も違ってきます。七高僧はその時代や地域に最も相応しい方法で説かれます。これを「七祖の化風」とか「発揮」と言います。

すなわち、インドでは、第一祖の龍樹菩薩が釈尊の説いた縁起の道理を「空」の思想によって説明し、形式化していた当時の仏教を大乘という思想によって甦らせます。そして、難と易の二つの道を提示して五濁(濁りの世の中)に生きる人々には念仏の教えにつながる他力易行の教えしか残っていなかったことを示されます。

第二祖・天親菩薩は阿弥陀如来から

差し向けられる本願力回向によって、苦悩する一切の凡夫を救い導くための「信心」を「一心」と言い表し、その意味を顕かにされます。

その心がインドから中国へと伝承され、第三祖・曇鸞大師のところで、阿弥陀仏の本願に随順する他力の信心を顕示されます。

次いで第四祖・道綽禪師は聖道と浄土の二つの門を比べ、聖道を廃して浄土の門を立てられます。

さらに善導大師においては、かつて曇鸞大師が居住された、石壁山玄忠寺の道綽禪師を訪ね、諸師の誤解を正し直し(階定)、念仏によって凡夫が真実報土に往生できる、と主張されます。親鸞聖人が「善導独り、仏の正意を明かせり」(正信偈と讃えられていることから窺えます)。

いよいよ、日本に伝承される

そして、いよいよ日本に伝承された本願の教えは、源信僧都によって「釈尊一代のみ教えは、南無阿弥陀仏を称える念仏の教え」として、仏教の真髄が明らかにされていきます。

● 飛雲閣(西本願寺)の特別公開で、夜にライトアップされた姿を見ました。とても見事でした。

(広島市東区 松尾愛子 67歳)

● 父の死をきっかけに、仏壇まわりの整理をしました。使いかけ、使えなくなったサイズのろうそくを溶かして再生し、火をともしています。ゴミを減らすことに目を向けられてよかったです。

(広島市西区 おやす 54歳)

● リレー問法が分かりやすく身近に感じます。

(広島市東区 大田礼子 68歳)

● 前号でP.5の仏教語「他力」を読み、その意味を知りました。良い教えを得ることができました。

(広島市安佐南区 麦生昌社 63歳)

● 楽しく拝読しています。前号の精進料理かぼちゃのヨーグルト味噌あえをおいしくいただきました。

(広島市西区 中津たか子 67歳)

表紙の絵

イラストレーター もつりあひやん
タイトル:「青紅葉」



真宗コアでは、新しい情報発信手段の一つとして、facebook(フェイスブック)を始めました。たくさんの方の「いいね!」をお待ちしています。

仏教の歴史に触れる

寺院の名宝

本願寺をはじめ、全国各地の寺院には、宗教的にも歴史的にも価値の高い重要な文化財が数多く存在します。

本願寺書院[対面所] (西本願寺) 国宝



(本願寺Webサイトより)

ご門主との対面に使われた広間

書院は、桃山時代に発達した豪壮華麗な書院造の代表的なもので、座敷飾(床、違棚、帳台構、付書院)を完備し、金碧障壁画や彫刻で飾られています。対面所と白書院に大別され、もとは別々の建物でしたが、後になって今のように接合されました。

対面所は、本願寺の書院では一番規模の大きい広間。ご門主との対面に使われたところからこの名があります。上段正面の欄間に、雲間を飛ぶ鴻の透かし彫りがあることから「鴻の間」とも呼ばれています。

※通常非公開です

DATA

西本願寺 京都市下京区堀川通花屋町下る本願寺門前町
TEL 075-371-5181

編集部からお知らせ

応募方法

ハガキに、裏表紙のクロスワードパズルの答えと住所・氏名(希望者はニックネームも)、年齢、電話番号を書いて、〒730-0033 広島市中区堀川町2-17 高山清内 マツリカ編集部まで、

※お便りの内容、お名前を茉莉花の誌面やHPに掲載することがあります。ご了承ください。

締切りは5月末日(当日消印有効)。当選者の発表は発送を持ってからさせていただきます。

〒730-0033 広島市中区堀川町2-17 高山清内 マツリカ編集部

- クロスワードパズルの答え
- 住所
- 氏名(希望者はニックネームも)
- 年齢
- 電話番号
- 「意見」ご感想

「マツリカ」購読のご案内

1年分のマツリカ(4回発行)を10000円(送料込)で購読できます。

● バックナンバーも承ります。仏の教えの案内書としてぜひお手もとに在庫切れの際は、お容赦ください。

● お寺の施本としてご購入いただく場合は(50部以上)ご連絡ください。

希望の写数、部数を明記の上、仏教文化情報センター「真宗コア」まで郵便振替でご送金ください。お申し込みはFAX・はがきでも受付けております。

お問い合わせ、お申し込みは下記まで。

郵便振替口座番号:01300-1-89761 加入者名:真宗コア
TEL:082-241-5081 FAX:082-241-6751
E-mail:info@shinshucore.net

編集後記

年末、大掃除を行った。大掃除をする、思いもかけぬ物が見つかる。私の場合は、幼い頃の日記だった。

他日、「蓮如上人御一代記聞書」を読んでいたところ、これはという言葉に出会った。

「今の人は古をたづぬべし。また古き人は古をよくつたふべし。物語は失するものなり。書したるものは失せず候ふ。」(浄土真宗聖典 註釈版二二四七頁)というものである。

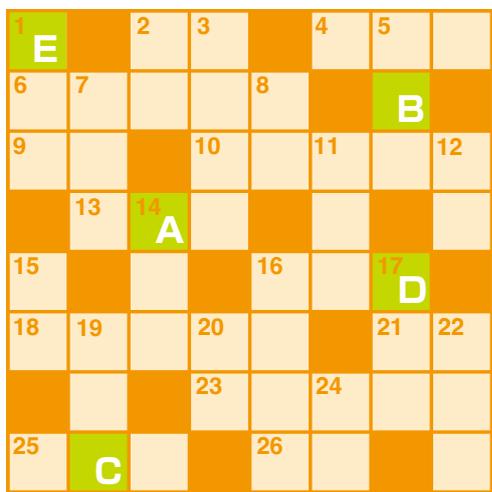
昔の記憶は、不確かである。年末の出来事は、往時を伝えるにあたり、書き記すことが有益と再認識させられるものだった。

●発行 2023年3月9日
 ●企画編集 仏教文化情報センター「真宗コア」
 〒730-0033 広島市中区堀川町2-17
 TEL 082-2415081 FAX 082-2416751
 編集協力 (株)amicodesign

●冊子タイトルのマツリカ(茉莉花)とは——
 現存する最古の経典「タンマバダ」に登場する香り高い花で、すぐの方向に薫る徳行にたとえられます。
 王ワセイ科オウバイ属の常緑小低木で、ジャズミンの種として広く親しまれています。

CROSSWORD PUZZLE

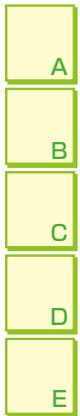
●前号 VOL.130 の答え センリョウ



プレゼント

正解者の中から抽選で10名様に「仏様と日暮らし」をプレゼント。
 正覚寺(広島県安芸太田町)による、日めくり法語集です。

応募方法は14ページをご覧ください。



クロスワードパズルのA~Eまでの5文字の言葉を見つけてください。

正解者の中から抽選で10名様に読者プレゼント!

ヒント 春の季語。山の草木が一斉に芽吹き華やかになる様子。

●タテのカギ

- 1 日本の伝統工芸。輪島塗、津軽塗などが有名。
- 2 「海の○○」「山の○○」。
- 3 絵を描くための厚手の紙。
- 5 山の方の土地。対義語は「海手」。
- 7 意味が分かること。「○○○○が早い」。
- 8 早春を彩る花。実は食用になる。
- 11 桃太郎の鬼○○○。
- 12 市のトップは市長、県のトップは？
- 14 溪流にすむ魚。漢字で書くと山女。
- 15 東京の旧称。
- 16 車輪のように見える駄。
- 17 右を英語で言うこと。
- 19 「○○○が大きい」とは寛大なこと。
- 20 精進料理では、昆布や干し椎茸でとる。
- 24 九州と朝鮮半島の間にかかる島。人が住むための建物。

●ヨコのカギ

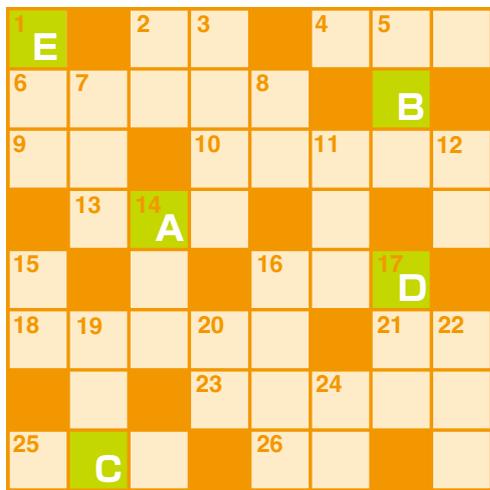
- 2 呼子のイカや有田焼が有名な○○県。
- 4 ○○○○、早起きで生活リズムを整える。
- 6 瑠璃(るり)色の羽をした、美しい鳥。
- 9 奈良公園や宮島(広島県)でふれあえる。
- 10 川や海などに土砂を入れて、人工的に造成した土地。
- 13 心や体の疲れ、傷などを治すこと。海に暮らす哺乳類。潮を吹く。
- 16 1位の人には金メダル、3位の人には？
- 21 事実を伝える時は「○○、誰がどこで、何を、なぜ、どのように」を意識する。
- 22 文化交流や親善を目的にした、地方自治体同士の国際的な関係。
- 23 瀬戸内に春を告げる魚。魚へんに春で「鱈」と書く。
- 24 息を吹き込んで鳴らす楽器。
- 25 瀬戸内に春を告げる魚。魚へんに春で「鱈」と書く。
- 26 息を吹き込んで鳴らす楽器。

●発行 2023年3月9日
●企画編集 仏教文化情報センター「真宗コア」
〒730-0033 広島市中区堀川町2-17 高山清内
TEL 082-241-5058 FAX 082-241-6751
編集協力 (株)amicodesign

●冊子タイトルのマツリカ(茉莉花)とは
現存する最古の経典「タンバダ」に登場する香り高い花で、すぐの方向に薫る徳行にたとえられます。
ワセイ科オウバイ属の常緑小低木で、ジャスミンの種として広く親しまれています。

CROSSWORD PUZZLE

●前号 VOL.130 の答え センリョウ



プレゼント

正解者の中から抽選で10名様に「仏様と日暮らし」をプレゼント。
正覚寺(広島県安芸太田町)による、日めくり法語集です。

応募方法は14ページをご覧ください。



- クロスワードパズルのA〜Eまでの5文字の言葉を見つけてください。
正解者の中から抽選で10名様に読者プレゼント!
- ヒント 春の季語。山の草木が一斉に芽吹き華やかになる様子。
- タテのカギ
- 日本の伝統工芸。輪島塗、津軽塗などが有名。
 - 「海の○○」山の○○。
 - 絵を描くための厚手の紙。
 - 山の方の土地。対義語は「海手」。
 - 意味が分かること。「○○○○が早い」。
 - 早春を彩る花。実は食用になる。
 - 桃太郎の鬼○○。
 - 市のトップは市長、県のトップは？
 - 溪流にすむ魚。漢字で書くと山女。
 - 東京の旧称。
 - 車輪のように見える駄。右を英語で言うこと。「○○○○が大きい」とは寛大なこと。
 - 精進料理では、昆布や干し椎茸でとる。
 - 九州と朝鮮半島の間に浮かぶ島。人が住むための建物。
- ヨコのカギ
- 呼子のイカや有田焼が有名な○○県。
 - 、早起きで生活リズムを整える。
 - 瑠璃(るり)色の羽をした、美しい鳥。
 - 奈良公園や宮島(広島県)でふれあえる。
 - 川や海などに土砂を入れて、人工的に造成した土地。
 - 心や体の疲れ、傷などを治すこと。海に暮らす哺乳類。潮を吹く。
 - 1位の人には金メダル、3位の人には？
 - 事実を伝える時は「○○、誰がどこで、何を、なぜ、どのように」を意識する。
 - 文化交流や親善を目的にした、地方自治体同士の国際的な関係。
 - 瀬戸内に春を告げる魚。魚へんに春で「鱈」と書く。
 - 息を吹き込んで鳴らす楽器。

経済産業大臣指定 伝統的工芸品製造元

お仏壇の 清 高山 清

〒730-0022 広島市中区堀川町2-17
TEL 082-241-5058 Fax 082-241-6751
ホームページ <https://www.takayamakiyoshi.com/>

伝統的工芸品 広島仏壇
創作壇「安芸モダン」

ザ・広島ブランド

広島漆芸 高山 尚也

高山清2F・常設ギャラリー

乾漆器「暁」 乾漆器「coro」 乾漆器「shizuku」

第68回日本伝統工芸展 入選
第45回全国伝統的工芸品公募展 日本商工会議所会頭賞
第16回ひろしまグッドデザイン賞 プロダクト部門奨励賞